広済寺寺報

発行　浄土真宗本願寺派　福田山　廣済寺
〒933－0344　富山県高岡市笹川98　TEL(FAX)　0766－31－0096
E-Mail　info@kosaiji.net　ホームページ　https://kosaiji.net/

今号の内容

・第四回初参式が開かれました
・八月七日(月)は夏休み子ども大会！
・千夏のきときと日記
・住職コラム

今号の法語

まわり道も
寄り道も
あなたにとって
意味のある道

法座のご案内

七月三十一日(月)・八月一日(火)
黎明(れいめい)講座

九月二十三日(土)　午後二時より
秋季彼岸会

最近話題になっている生成ＡＩ。文書のみならず、画像や音声など、様々なものを「生み出す」人工知能のことです。

中でも有名なのが、Ｃｈａｔ(チャット)ＧＰＴ。試しに高岡市の広済寺について聞いてみると、曹洞宗のお寺で美しい庭園に多くの観光客や参拝者が訪れる人気寺院の一つ、との回答。嬉しい話ですが、事実とは少し(？)違います。

様々なものを「生み出す」といっても、何もないところから生み出すのではなく、膨大なデータに基づき経験を重ねつつ生み出しているとのこと。今は可笑(おか)しな回答でも、きっといつかは人間顔負けの答えをくれるかもしれませんね。

私たち人間も、間違いをしてしまうのはいつものこと。ですが決してそれらは無駄ではなく、その一つ一つに意味はあったんだと言える世界があります。そして、たとえ間違いばかりの人生の中にあっても、そこにかけがえのない世界を開いてくださるのが阿弥陀様でありました。

第四回 初参式が開かれました

七月八日(土)午前十時半より、広済寺にて第四回初参式が開かれました。当日は天候にも恵まれ、子ども達十五名が阿弥陀様の前で手を合わせてくれました。

初参式は、新しいいのちの誕生に際してお参りする行事です。ただおめでとうというだけでなく、私たちがお互いに支え合い生きていくことを、仏様の前で私たち自身が受けとめる意味もあります。

今回も将来二十歳になる子供さんに向けてお手紙を書いてもらいました。そしてお寺の仏様にお供え。このお手紙を開くのはだいぶ先の話ですが、その時には今は小さいお子さんも頼もしい成人に。お手紙を読み返す中で、皆に願われたいのちであったこと、互いに支え合って生きるいのちであったことを受けとめるご縁になればと思っています。

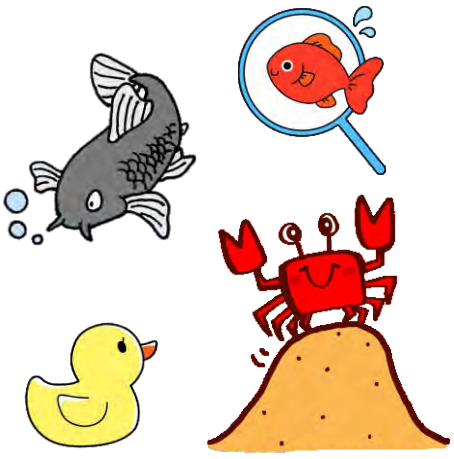
合同での初参式はこれからも定期的に行っていきますが、個別での初参式も受け付けておりますので、いつでもお問い合わせくださいね♪

八月七日(月)は四年ぶりに・・・ 夏休み子ども大会！

八月七日(月)午後一時半より、麻生谷の西光寺さんにて、第二十二回五位組夏休み子ども大会が開かれます！

実に四年ぶりとなる今大会。毎年恒例となっていた大会もコロナ禍でお休みが続いていましたが、ようやく復活いたします！

今回も新企画が盛り沢山！宝探しに加え、「あそべる水族館」と題して「さわがにタッチ」・「ドクターフィッシュ」や「金魚すくい」「アヒルすくい」などもできますよ♪そしてコンプレッサーさんによるマジックショーも開催！保育園児から小学生までみんなで楽しめる内容になっています。



参加費は無料です。お寺で夏休みを楽しく満喫しませんか？ぜひ誘い合ってお越しください！ご不明な点などお問い合わせは広済寺まで。

千夏のきときと日記

つい先日、娘の英惟が三歳の誕生日を迎えました。

娘は、とてもおしゃべりが大好きです。しゃべりすぎて注意されることもしばしば。大人のしゃべっている言葉を聞いてオウム返しをしたりするので、ビックリする言葉がでてくることもあります。半面、まだできないこともたくさんあります。四月から保育所に通っているので、他の子どもはできるのにどうして娘はできないのかなと不安に思うこともあります。

そんな時には、娘と観ている子ども番組の歌の歌詞を思い出すようにしています。歌は『きみイロ』。ちょうど二〇二〇年のコロナ禍に発売された歌です。歌詞の一部に「イロイロ　とりどりのイロ　めイロもすすんで　いざまイロう！　あんなイロ　こんなイロ　どんなイロたったひとつ　きみイロ」とありました。子どもたちが喜ぶ歌でありながら、母である私がどれだけ励まされたか分かりません。

私たちはついつい他の人と比べがちになってしまいます。私だけの「きみイロ」の人生を多くのいのちによって、そしてたくさんの人に支えられて生かさせていただいている喜びを伝えていきたいと思います。

そう思いながら、今朝また娘を叱った私です。書きながら反省しています・・・。

住職コラム

いよいよ暑い夏を迎えます。子供たちにとっては、待ちに待った長い夏休みの始まりです。

当広済寺では例年の通り、午前六時半より子供会の「ラジオ体操」が始まりました。体を動かした後は本堂に移動して、朝の「お勤め」をしています。この子供会は昭和二十年の終戦後より続いているそうで、朝の「お勤め」では「讃仏偈」・「重誓偈」を子供たちと唱和します。正座もままならぬ一年生も懸命にお経本に目を向けている姿を見るにつけ、夏休み後半までの成長が大変楽しみなことです。

いつも寄り添ってくださる仏さまと一緒の場所で、ほんの一時でも過ごしている子供たちを眺め、私の人生に味わいながら、「ありがとう」とお念仏を称えさせていただきたいと思います。

合掌

お知らせ

令和五年

両講合同夏期講座
七月三十日(日)
午後二時より
場所　土屋　珉照寺

黎明講座
七月三十一日(月)
午前五時半より
御講師
氷見組　法順寺
圓山　望　師

八月一日(火)
午前五時半より
御講師
川上組　本福寺
栗山　宣雄　師

第二十二回　五位組　夏休み子ども大会
八月七日(月)
午後一時半より
場所　麻生谷　西光寺

盂蘭盆会
八月十五日(火)
午後二時より
十六日(水)
午前九時半より
午後二時より

廣済寺護持委員会
九月三日(日)
午後二時より

秋季彼岸会
九月二十三日(土)
午後二時より
御講師
新湊組　覚円寺
青木　哲隆　師

※月参りについて
八月十四日・十五日・十六日の三日間はお休みさせていただきます(祥月命日は除く)。

編集後記

今月は富山県にも、発達した積乱雲が次々と連なる「線状降水帯」が発生しました。ニュースなどでその怖さは聞いていたつもりでしたが、自然の力は想像以上の凄まじさでした。

高岡市においても床上浸水・床下浸水などが多数発生。今はスマホの時代ですので、被災の状況もSNSでリアルに見ることができました。いつも見慣れた場所が水に浸かっている映像に、本当にこれがあの場所なのかという思いがしました。

災害はいつ起こるかわからないということを改めて認識させられましたが、同時に、もし防災整備がより不十分な昔だったらどうなっていただろうとも思いました。

先人たちのご苦労に感謝すると共に、自分たちもまた未来に何を遺していくのかを考えさせられます。